

地域づくり技術研究所 防災啓発活動報告 平成30年度

名 称	平成30年度夏休みこども短期教室「おもしろサイエンス」 協力
実施目的	当研究所は、「地震」等の自然科学に興味をもつ児童に発展的な学習機会を提供することにより、理科を学ぶ意欲を一層喚起し、科学技術に対する正しい理解と知識を深めるとともに、自然災害から身を守る「命の大切さ」を考え行動する力を育て、次代を担う人材の育成を図ることを目的とし、この短期教室に講師を派遣し、協力しました。
実 施 日	平成30年8月21日（火） 10:00～11:30
会 場	安八町中央公民館 1階講堂
主 催	安八町教育委員会
参 加 者	安八町内の小学校4～6年生 16名
実施内容	<p>実験でわかる「地震」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安八町は災害に強いのか？ 地震に対する「備え」「行動」他 ・模型による地震発生の原理「地震はどうして起るの？」 プレートの移動実験（海溝型地震）、断層による地震実験（内陸型地震） ・長周期地震動の実験（高層ビル、低層ビル等の揺れ） ・液状化実験装置を使った「地盤の液状化実験」 ・ペットボトルを使った液状化実験「エッキーの作成と液状化実験」 ・津波発生装置を使った「津波」の実験
実施効果	<p>小学生にもわかりやすい防災実験として、楽しみながら地震と防災に対する知識を深め、災害から身を守る一助となるよう企画しました。</p> <p>参加した小学生は、どの実験にも興味・関心を持ち積極的に取り組むとともに、災害時にどう行動したらよいかを話し合っていました。</p>
参加した小学生の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・色々な実験を体験して、地震がどうして起こるのが良くわかった。 ・また、地震に対する備えと、家族で話し合いをしたいと思います。 ・下水管やマンホールが浮いてくる「エッキー」実験が楽しかった。 ・次回も防災科学実験に参加したい。

実 施 状 況

